

自己申告票 評価・育成システム Q&A

学級のことに加えて、運動会や様々な行事でも忙しいこの時期、提出を求められる「自己申告票」。このシートは果たして、どんなものなのでしょうか？素朴な疑問にお答えします。

Q1. 自己申告票は何のために提出するのですか？

A1. これは大阪府教育委員会が行っている、「評価・育成システム」が関係しています。4月に目標を立て、秋に中間の進捗状況、年度末に総括を自己評価するためのものです。

Q2. 「評価・育成システム？」って何ですか？

A2. 約10年前に、教師の資質向上と、意欲の向上を目的として作られたものです。自公申告票に基づいて、「授業力」「児童生徒の指導」「学校運営」などを軸に、第一次評価者が教頭、第二評価者が校長として評価されます。評価は「SS・S・A・B・C」で評価されます。しかし、これは多くの問題がはらんでします。それはこのように教師をランク付けすることで、果たして意欲が向上するのか？そしてこの評価を気にするあまり、教職員の間での分断が起こるのではないかとといったことなど、他にもあげればキリがないほど、多くの問題があります。

Q3. 書き直しをするように管理職の先生に言われました。どうしたらいいですか？

A3. よく耳にする事例です。結論から言いますと、「書き直しをする必要はありません」また書き直しを強要した場合は「組合との確認違反」となります。書き直しに応じなかったことは評価には関係ありません。もしそのことが評価に影響していた場合は、すぐに組合に相談してください。

Q4. 給料と関係していると聞いたのですが・・・？

A4. そうです。近年この「評価・育成システム」の評価結果が賃金にリンクしている都道府県が増えてきました。大阪はそこに「授業アンケート」の結果も反映することになっています。また「評価・育成システム」の前年度の評価結果がボーナスの額に関係しています。教員をランク付けして差を付けるこのようなシステムは、一刻も早く廃止に追い込んでいきたいですね。

橋下・松井

維新府政の8年間で大阪がピンチ！

11月22日投開票の大阪府知事・大阪市長のダブル選挙を前に、様々な報道がなされています。橋下氏・松井氏が中心となって行ってきた維新府政の8年間で振り返ってみます。

減る教育予算 少人数学級全国ワースト

維新政府は、全国に広がる「少人数学級」に背を向け、小学校2年生まで「35人学級」にとどまっています。(東京、神奈川、愛知、京都、兵庫などでは中学校も「35人学級」を実施しています。)

高まる府民要求に押されて私学無償化を実施しているものの、教育予算の総額は減っています。

府立池田北高校と 府立咲洲高校を廃校に

昨年度大阪府教育委員会は、「定員に満たない」ことを理由に府立池田北高校と府立咲洲高校を平成28年度から募集停止するとの方針を、約4万名もの反対署名を無視し、決定しました。公立高校の役割は、すべての希望する子どもたちに「高校で学ぶ権利」を保障することです。「定員に満たない」ことを理由に高校をつぶす条例は直ちに撤廃し、「少子化」をチャンスに他府県に比べて大規模となっている府立高校の学校規模の縮小、少人数学級の実現など教育条件を整備することこそ求められています。

自校直営給食が一番おいしくて安全です！